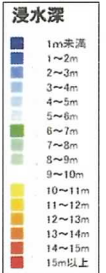


■末崎地区②（門之浜、泊里、基石）

この資料は、国及び岩手県における海岸保全施設の整備目標の検討状況を踏まえ、大船渡市が土地利用方針の検討のために実施した津波シミュレーションであり、今後、整備目標の決定や予測計算結果の精査、関係機関との調整によって変更になる可能性があります。

検討ケース		1. 3/11 時の津波（今次津波）の浸水深【浸水結果】	2. 防潮堤のみ整備の場合の津波シミュレーション (既往最大津波(東日本大震災津波)の場合)	3-1. 防潮堤+道路嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション【道路嵩上げで止めるケース】	3-2. 防潮堤+道路嵩上げ整備の場合の津波シミュレーション【浸水深1mまで許容するケース】
図面	門之浜				
	泊里				
	基石			道路嵩上げ整備の予定なし	
考察		<ul style="list-style-type: none"> 門之浜は防潮堤（T.P. +12.8m）の整備により、太田団地付近では盛土高が約5m程度で浸水を防ぐことができる。浸水深を1m未満まで許容することで、盛土高は約4mとなる。 泊里は道路嵩上げを整備すると、水の滞留により浸水深が高くなるため、盛土高が9mと高くなる。 			



— : 防潮堤の位置 (シミュレーション上の想定) — : 道路嵩上げの位置 (想定)